



みやき町

2022.3月議会

No.58

# こんにちは 議会 です。



交通安全見守り活動 (みやきスポーツコミッション)  
(令和4年4月13日～15日)

## Contents ・主な内容・

議長就任あいさつ	2
委員会の編成	3
第1回臨時会・3月定例会	4
令和4年度予算成立！	6
4委員会審査報告	8
一般質問・10名が町政を問う	12
編集後記ほか	22

各庁舎、こすもす館ロビーに設置のテレビで議会中継を視聴できます。  
また、スマートフォンやタブレット端末でもインターネット議会中継を視聴できます。

[みやき町議会中継](#) [検索](#)



## 議長就任あいさつ



議長 岡 広明

町民の皆様には、日頃より町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年2月に行われた町議会議員選挙において、5名の新人議員を初め16名の議員が誕生しました。

さて、私儀去る3月1日の臨時議会におきまして、町議会議長にご推挙を賜り、責任の重さを痛感しております。この上は、公正かつ円滑な議会運営に専心努力したいと決意しております。

今日の少子高齢化、高度情報化や社会構造の変化などを考えます時、議会の果たす役割、責任はますます大きくなっており、私ども議会が町民の負託と信頼に応えるためには、二元代表制の一翼を担う機関としての「強い発信力のある議会」を目指す必要があると考えます。

また、より多くの町民の声を拾い上げ、より多くの町民が納得できる政策を形成する場が議会であり、執行機関と相互に緊張関係を保ちつつ、開かれた議会運営と政策審議の一層の活性化を推進していく所存です。

最後になりますが、町民の皆様から信頼され、期待される町議会を目指して努力して参りますので、町民の皆様の今後ますますのご指導ご鞭撻をお願いいたしまして議長就任の挨拶と致します。

令和4年4月吉日

## 開かれた議会へ頑張ります！

令和4年2月20日執行のみやき町議会議員選挙で16人の議員が決まりました。よろしくお祈りします。



(後列左から)平野達矢議員 吉村哲雄議員 長瀬宣宏議員 末次 優議員 武田光邦議員  
 (中列左から)益田 清議員 目野さとみ議員 岡 友清議員 大石安弘議員 松信彰文議員 西村健一郎議員  
 (前列左から)牟田秀文議員 古賀 通副議長 岡 広明議長 宮原宏典議員 園田邦広議員

# 委員会の編成

下記のように委員が決定しました。

みやき町の進展と町民福祉向上のため各議員及びそれぞれの委員会は「自覚」と「使命感」を持って町政推進に取り組みます。

◎：委員長      ○：副委員長

名称	委員名	所管の範囲等
総務文教常任委員会 (定数 6人)	◎目野 さとみ ○岡 友清 末次 優 西村 健一郎 松信 彰文 岡 広明 (議長)	(1) 総務部の所管に関する事項 (2) 出納室の所管に関する事項 (3) 監査委員の所管に関する事項 (4) 選挙管理委員会の所管に関する事項 (5) 教育委員会の所管に関する事項 (6) 他のいずれの常任委員会にも属さない事項
産業建設常任委員会 (定数 5人)	◎牟田 秀文 ○宮原 宏典 吉村 哲雄 古賀 通 (副議長) 平野 達矢	(1) 事業部の所管に関する事項 (2) 農業委員会の所管に関する事項
民生福祉常任委員会 (定数 5人)	◎益田 清 ○大石 安弘 長瀬 宣宏 武田 光邦 園田 邦広	(1) 民生部の所管に関する事項
議会運営委員会 (定数 6人)	◎大石 安弘 ○宮原 宏典 末次 優 目野 さとみ 園田 邦広 平野 達矢	(1) 議会の運営に関する事項 (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 (3) 議長の諮問に関する事項
議会広報編集委員会 (9名以内)	◎平野 達矢 ○西村 健一郎 末次 優 長瀬 宣宏 吉村 哲雄 武田 光邦	(1) みやき町議会の審議状況を住民に知らせるためみやき町議会広報を発行する (2) 広報は、年4回、定例会ごとに発行する



# 令和4年 第1回臨時会 会期3月1日

## 議案及び採決結果

件名と主な内容（件名は一部省略しています）		
専決処分の承認	一般会計補正予算（第7号） 【内容】 2億1,210万4千円を追加し、152億1,139万に子育て世帯への臨時特別給付金事業費の増額	全員賛成
	一般会計補正予算（第8号） 【内容】 3億650万円を追加し、155億1,789万に住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費の増額	全員賛成

# 令和4年 第1回定例会（3月） 会期3月7日～3月23日

## 主な議案および採決結果（件名は一部省略しています）

条例改正	敬老祝金支給条例の一部改正	賛成6、反対8
------	---------------	---------

### 反対多数で否決!!

【内容】 敬老祝金の支給対象者を見直す。見直しで生み出された財源を健康でいられるための介護予防や健康寿命の延伸に寄与する施策に活用するため、現役で活躍されている方も多く、男女とも平均寿命を下回る70歳と88歳の節目から2年後に迎える90歳について祝金の支給を廃止する改正

条例改正	高齢者に対するあん摩等の施術料の助成に関する条例の一部改正	全員賛成
------	-------------------------------	------

【内容】 65歳以上の対象者一人に対し1ヶ月1枚相当で年間12枚の助成券の発行を、月2枚相応の年間24枚の助成券発行にし、心身のリフレッシュの機会を増やすことで健康づくり・介護予防に繋げるもの

条例改正	みやき町営住宅条例の一部改正	全員賛成
------	----------------	------

【内容】 民法の一部を改正する法律（平成30年法律第59号）が公布され、成人年齢の引き下げが施行されること、および婚姻歴の有無による不公平と男性女性の間のひとり親の不公平の解消を図るため

監査委員の選任 【同意】	人権擁護委員の推薦 【同意】
<p>たけだ みつくに <b>武田光邦 氏</b> (北茂安校区：新任)</p>  <p>※任期： 令和4年3月23日から 令和8年2月28日</p>	<p>やまた のぶあき <b>矢俣宣昭 氏</b> (三根校区：再任)</p>  <p>※任期： 令和4年7月1日から3年間</p>

町道の認定	【路線名】 中原小学校南通線	全員賛成
<p>原古賀区および高柳区より平成26年3月6日に、中原小学校周辺の道路整備に関する要望書が提出されており、近隣住民の利便性向上並びに通学生の安全確保を目的として町道認定するもの            【幅員】 3.0～6.0m 【延長】 270m</p>		

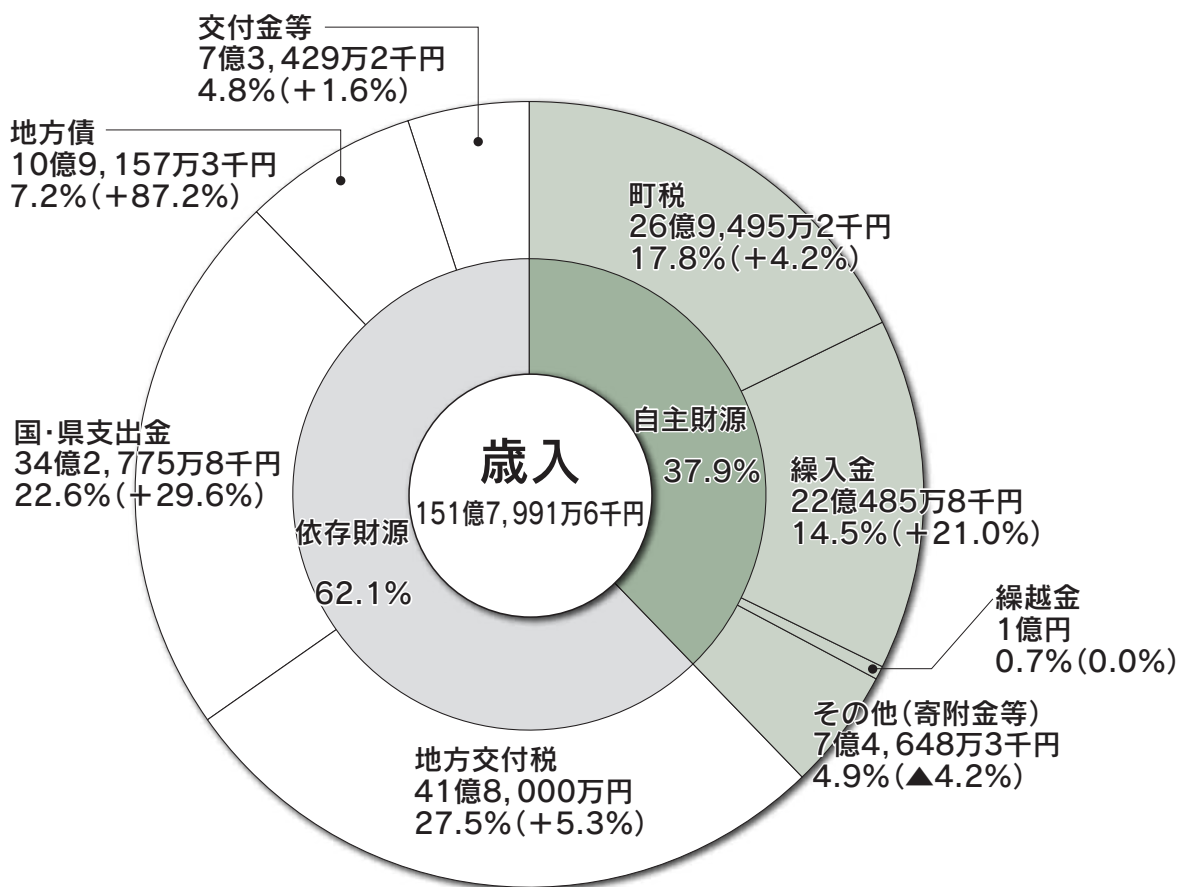
令和3年度 補正予算関係【全議案 可決】			
会計の名前	補正額	総額	採決結果
一般会計補正予算（第9号）	△2億3,978万5千円	152億7,810万5千円	全員賛成
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	2,992万4千円	38億2,291万9千円	全員賛成
下水道事業特別会計補正予算（第5号）	△8,670万1千円	13億2,589万7千円	全員賛成
グリーンパーク推進整備事業基金特別会計補正予算（第2号）	△35万5千円	7,816万6千円	全員賛成
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	△810万円	4億4,457万9千円	全員賛成
住宅用地取得造成事業特別会計補正予算（第2号）	3,349万円	3,880万9千円	全員賛成
ふるさと寄附金基金特別会計補正予算（第5号）	△17億640万1千円	74億1,109万2千円	全員賛成

# 令和4年度予算が成立しました！

一般会計予算 151億7,991万6千円  
 〈前年度と比較して 19億6,972万7千円の増額〉

重点 目標	豪雨災害対策、子育て支援、定住対策や健幸長寿のまちづくり、 スポーツ振興など、みやき町独自の施策を推進
----------	--

## ◆ 一般会計 歳入の特徴



注) 表示単位未満を四捨五入しているため  
各項目の合計額が一致しないことがあります。

カッコ内は対前年比 (ポイント増減)

## ◆ 基金 (預金) の状況 (普通会計)

	令和4年度末 見込残高	令和3年度末 見込残高	令和4年度 当初予算積立額	令和4年度 当初予算取崩額
財政調整基金 減債基金	34億992万8千円	40億7,963万円	5,175万円	7億2,145万2千円
特定目的基金	86億1,449万5千円	89億7,939万9千円	31億755万6千円	34億7,246万円

◆令和4年度一般会計予算（歳出）の注目する項目

○豪雨災害対策事業	3,578万8千円
○スポーツを通じたまちづくり事業	2,400万円
○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	1億282万5千円
○予防接種事業	1億1,499万3千円
○がん検診・結核検診事業	3,136万1千円
○学校給食費支援事業	5,051万2千円
○子どもの医療費助成事業	1億107万9千円
○待機児童対策事業	7億2,747万7千円
○高齢者買物支援実証事業	472万5千円
○高齢者等外出支援タクシー助成事業	1,800万円
○高齢者の保健事業・介護予防一体的実施事業	1,507万4千円
○中原体育館改修事業	1億2,212万8千円
○天建寺団地建替事業	8億4,209万円

◆町債（借金）の状況（一般会計）

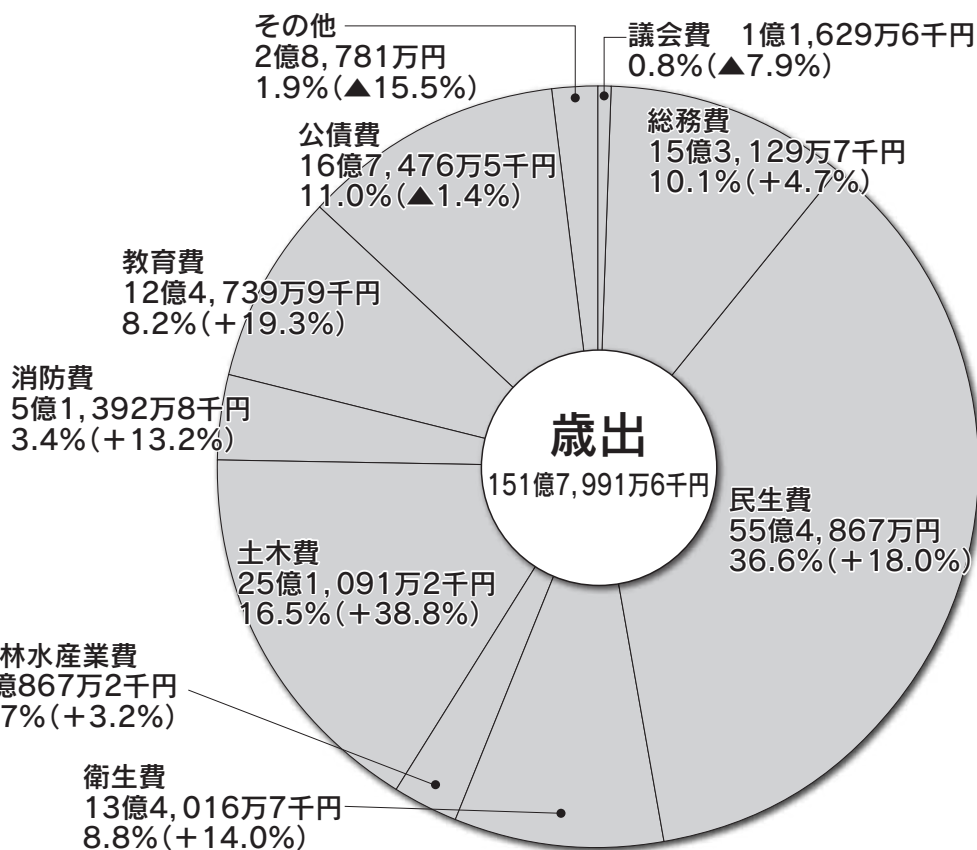
令和4年度末借入金見込残高  
159億7,217万8千円

令和4年度返済額  
16億7,406万5千円

【返済額の内訳】

・元金 16億2,488万6千円  
・利息 4,917万9千円

◆一般会計 歳出の特徴



注) 表示単位未満を四捨五入しているため  
各項目の合計額が一致しないことがあります。

カッコ内は対前年比（ポイント増減）

◆令和4年度 全会計予算

会計の名前	令和4年度	令和3年度	増減額
全会計総額予算額	279億6,995万2千円	250億8,986万2千円	28億8,009万円
一般会計	151億7,991万6千円	132億1,018万9千円	19億6,972万7千円
国民健康保険特別会計	37億6,899万9千円	36億9,482万6千円	7,417万3千円
後期高齢者医療特別会計	4億6,757万5千円	4億5,096万1千円	1,661万4千円
下水道事業特別会計	20億8,486万2千円	14億704万8千円	6億7,781万4千円
工業用地取得造成事業特別会計	8,567万7千円	8,239万円	328万7千円
グリーンパーク推進整備事業基金特別会計	7,237万5千円	7,849万6千円	△612万1千円
住宅用地取得造成事業特別会計	373万1千円	432万円	△58万9千円
ふるさと寄附金基金特別会計	63億681万7千円	61億6,163万2千円	1億4,518万5千円

町民1人当りの予算額  
(全会計総額予算額÷年度末人口)

約109万円

約98万円

約11万円

## 総務文教常任委員会 当初予算審査の結果および所見（抜粋）

### （1）一般会計予算（分割付託分）〈全員賛成〉

①町税全体では、収入減が見込まれる。租税負担の公平性の面からも安易に不納欠損処理をせず、法的措置も視野に入れた徴収強化を行い、徴収に当たっては目標額を掲げ努力されたし。

②ふるさと寄附金基金特別会計より、ふるさと寄附金基金を取崩し、13億8,793万3千円を繰り入れている。ふるさと寄附金基金の取崩し、財源充当については、計画的な行財政運営と財政の効率化を十分に図られたし。

③企業版ふるさと納税は、年間7億3千万円の獲得を目安額として定めている。目標事業の推進のためにも企業版ふるさと納税の獲得に向け、特段の努力を図られたし。

④持丸古民家整備事業は、初期目的の地域コミュニティ、農業体験、六次産業化等の拠点施設としての具体的な計画作成、事業推進を図るためにも早急に持丸古民家の設置条例、施行規則の制定を図られたし。



⑤町内小中学校においては、学習者用端末整備事業の推進により、令和3年9月末には、全児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持つこととなる。早急にタブレットPCの活用指導力向上のための研修充実を図り、教職員の指導力、スキルアップを図られたし。

⑥小中学校給食費は、子育て世代が抱える経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境の整備を図り、定住促進に寄与することを目的に無償化されている。給食材料費の公費負担とする公会計への移行について、会計方法等を整理し検討されたし。

⑦外国語指導助手配置事業3,049万2千円については、令和2年度から新学習指導要領により小学校5、6年の英語教科化、3、4年の外国語活動の必須により、中学校に各1名、小学校は校区で1名の計6名のALTを配置している。学校における外国語活動及び英語教育の充実と国際理解教育推進のより一層の充実を図るべし。





(2) グリーンパーク推進整備事業基金特別会計予算〈全員賛成〉

①グリーンパーク推進整備事業基金特別会計の事業費の財源は、グリーンパーク推進整備事業基金の繰入金である。今後の事業推進に当たっての財源の確保、事業の縮小・削減の検討も踏まえながら適正化を図られたし。

**産業建設常任委員会 当初予算審査の結果および所見（抜粋）**

(1) 一般会計予算（分割付託分）〈全員賛成〉

①住宅使用料について、悪質な高額滞納者については、これまでの委員会での指摘等を踏まえ、法的措置による対応を進めているということであるが、コロナ禍等で今後滞納者の増加が予想されるため、連帯保証人への督促強化、強制的な早期の立ち退き等の執行など滞納額が高額とならないうちの包括的な対策に努めるべし。

②町営住宅は、空き室が多数生じているため、その対策について早急に検討を行うべし。

③多面的支払機能交付金について、近年頻発する豪雨に伴う内水氾濫対策のため、田んぼダムについては町内全域で取り組むよう努力すべし。



④空き家対策について、町内の空き家については今後増加していくことが予想されるため、リフォーム助成や空き家バンクなど空き家の利活用をすすめ危険な空き家になる前に効果的な対策を講じるべし。

⑤地域おこし協力隊の活動について、隊員の活動内容及び活動実績等の報告を求め、効果が認められる事業については、引き続きその活動をサポートしていくことにより、町の活性化につなげていくべき。またみやきファームで得られた農業における実績についても、効果を示して広く町の農業振興に資するべし。

(2) 下水道事業特別会計予算〈全員賛成〉

①豪雨時における処理場への多量の雨水流入について、早急に原因を調査し、対策を講じるべし。

(3) 工業用地取得造成事業特別会計予算〈全員賛成〉

(4) 住宅用地取得造成事業特別会計予算〈全員賛成〉

## 民生福祉常任委員会 当初予算審査の結果および所見（抜粋）

### （1）一般会計予算（分割付託分）〈全員賛成〉

①買物弱者を支援するための移動販売の実施は、地域や利用者等のニーズを検証しながらみやき町にあった形での実施に努めるべし。

②体力づくり高齢者介護予防事業は、メディカルコミュニティセンター参画のジムと連携し筋力づくりに取り組むということで、男性の参加が期待される。センターの利用促進および介護予防や閉じこもり予防等、高齢者の健康増進に努めるべし。



③メディカルコミュニティセンターは空室をつくらぬよう最大限の努力をすべし。また、企業人材派遣制度負担金は、派遣職員の業務体制・業務内容等、必要性を明確にし、費用対効果の検証を講じるべし。



④飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金は、TNR活動が認知され、みやき町全域に広がり徐々に件数が増えてきている。苦情の軽減となり喜ばれている事業であるため、今後とも事業強化への取り組みを望む。

⑤脳ドック検査費助成事業は、令和4年度から全町民を対象とした助成事業となり大いに評価する。病気の早期発見、早期治療、重症化予防のためさらなる推進を図るべし。

⑥コロナ禍により各種がん検診等の受診率が低下している。がん検診は早期発見、早期治療が不可欠であるため受診促進に取り組み、受診率向上に努めるべし。

### （2）国民健康保険特別会計予算〈全員賛成〉

①特定健診は、生活習慣病予防、重症化予防対策、また、病気の早期発見、早期治療による医療費抑制に不可欠であるため、受診率向上に努められたし。また、各種健康教室等への参加者増対策を図り、健康保持増進、国保医療費の適正化、国保財政の健全化に努めるべし。

### （3）後期高齢者医療特別会計予算〈全員賛成〉

①今後、被保険者数の増に伴い医療費増加が見込まれるため、健診の受診勧奨で受診率の向上、病気の予防や健康づくりの推進など、佐賀県後期高齢者医療広域連合と連携を強化した取り組みに努められたし。

## ふるさと寄附金事業特別委員会 当初予算審査の結果および所見（抜粋）

### （1）ふるさと寄附金基金特別会計予算〈全員賛成〉

①ふるさと寄附金に係る新制度では、返礼品は寄付額の3割以下の地場産品とする基準とされている。ふるさと寄附金の獲得には、新しい魅力ある地場産品の返礼品開発が必須と思われるが、公民連携、関係団体との協力を図り努力されたし。



②広く町民に寄附受入れの実績、寄附金充当事業の実績はもちろんのこと、事業効果等をホームページ・広報紙等により明らかにすべし。



③返礼品取扱業者については、町内産業の振興及び地域活性化に繋げるためにも募集要項を示し、他市町同様広く公募すべし。また返礼品の種類、件数、金額についてもホームページ・広報紙等により明らかにすべし。

④ふるさと寄附金基金繰入金のうち、3億243万7千円は、前年度までに積立てたふるさと寄附金基金を取り崩し繰り入れを行い、13億8,793万3千円を一般会計へ繰り出しを行っている。ふるさと寄附金基金の取崩し、財源充当についても、計画的な行財政運営と財政の効率化を十分に図られたし。

⑤地区安全安心いきいき特別交付金は、地域の社会インフラである「道路および水路整備の促進」という事業効果を期待して創設されたという経緯がある。町には「みやき町自治公民館建設に関する補助金」等の制度があり、「道路及び水路整備」以外の事業については、これらの補助制度の拡充で対応できないか令和4年度中に検討されたし。

⑥地区安全安心いきいき特別交付金は、平成30年度にふるさと寄附金を活用することにより、道路水路環境整備を実施する地区に対し、交付金を交付する事業として創設された。しかしながら、交付金の使途については、地区公民館の備品購入費等が多く見受けられる。このような事業内容であれば、交付金制度から補助金制度に改め、一定の地区受益者負担制度の導入も検討されたし。



末次 優 議員



問

若い世代の町政参画には何が必要か

答

町づくり計画を「見える化」する

問 今年2月の町議選挙の年代別投票率はどうだったか。

答 20代と30代のみが前回より上昇する結果となった。

問 若い世代の声を町政に反映させるために、何が必要と考えるか。

答 現在、「第3次みやき町総合計画」の策定に向けアンケート調査や住民ワークショップなどを実施している。町民参画の対話を行うことで、次世代のまちづくりを担う人材育成や、町政への参画企

年代	2018年町議選投票率	2022年町議選投票率(前回比)
10代	50.55%	40.83% (↓)
20代	32.03%	34.22% (↑)
30代	40.31%	42.54% (↑)
40代	53.55%	51.80% (↓)
50代	61.39%	60.37% (↓)
60代	75.60%	74.35% (↓)
70代以上	69.61%	69.53% (↓)
全体	59.90%	59.43% (↓)

画の拡充に繋がってきたい。

問 今後の行政運営の基本姿勢として、住民の方々の声に耳を傾け、①計画②実施③検証・評価

答 ↓④見直しという事業サイクルを確立し、「見える化」したいと考えている。取り組みを「見える化」することで、若い世代の方にも町

政に興味を持っていただき、若者だけでなく多くの方に町政に参画してもらえよう取り組みをいく。

問 町民の皆さん方から、まちづくりに関する勉強会やフォーラム等が立ち上がったいくよう、火付け役として動いていきたいと考えている。

答 町民の皆様への命を守ることを最優先に、防災行政無線のほか、次の手段で情報発信を行っていく。

- ・ エリアメール
- ・ あんあんメール
- ・ 町のホームページ
- ・ LINE(ライン)
- ・ まごボタン

大雨冠水対策

問 昨年8月の集中豪雨、冠水により三根校区、北茂安校区の南部を中心に被害があった。どのような

令和4年度からは防災ラジオを導入し、防災情報発信のさらなる多様化・多重化を進め、早期避難を呼びかける。また、合併浄化槽本体

の水没により浄化槽が機能しなかった家庭もあった。下水道の浸水対策区域と同様に、今年度も、事前に災害用トイレセットの配布を継続して実施する。

問 冠水による農作物への被害を最小限に抑えるための対策は？

答 「田んぼダム」に取り組む。また、幹線水路の事前排水の取り組み強化に向けて協議を行っていく。今年度の梅雨前までの対応を目標に取り組んでいる。

他にも、冠水対策に最も効果的である排水ポンプの更新、能力増強、河川の改修の要望を行っている。

## 通学路の安全対策

**問** 通学路の安全対策は。

**答** 道路管理者、警察、保護者会、町、学校及び教育委員会の関係機関が連携して3年に1回通学路合同点検を実施し、安全対策の検討、実施、検証、改善を繰り返して児童・生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っている。1舗装工事として、今年度は1285万円を計上し整備を継続していく。



三根校区通学路

## みやき町の豪雨災害対策について

### 情報発信手段として防災ラジオの導入

問

答

**問** 豪雨災害の被害を少しでも軽減するためにどのような対策、対応を考え、いつまでに実施されるか。

**答** 早期避難のための情報発信手段の拡充として、防災ラジオの導入、冠水被害や内水氾濫対策として県管理河川の改修工事の早期完成を県に要望、排水ポンプの整備は佐賀県知事に近隣4市町で緊急特別措置として、ポンプ更新と能力増強を強く要望している。

幹線水路の事前排水は、上峰町にも要

武田 光邦 議員



**問** 昨年8月の豪雨被害では、山田地区での土砂崩れ、豆津地区での家屋、ビニールハウス内への冠水による家具や農機

具等の被害など、今まで被害が少なかった地区でも発生した。また、三根校区においては農作物の被害が甚大であった。直近数年との被害状況の違いを問う。

**答** 山田の雨量観測所で4日間で935ミリの大雨が降り、警戒レベル5の緊急安全確保を発令し、期間内に53世帯

111人が避難された。道路の冠水被害は、三根、北茂安校区の南部地区を中心に集落内の道路がほぼ冠水した。昨年の豪雨においては筑後川の水位がなかなか下がらず、4日間

わたり通行規制により道路網が寸断された。大雨が長く続き大豆の立ち枯れや農業用機械の冠水被害が発生。下水道は地盤の低い区域においてトイレの水が流れない、汚水が逆流するなどの被害が発生した。

請し、田んぼダムについても、多面的機能支払交付金事業に取り組みれている46組織に説明会を開催し16組織が取組む予定。公共下水道の対応は災害用トイレセットの備蓄、汚水能力強化として終末処理場の水処理設備増設工事を行う。

**問** みやき町の排水機場の管理状況はどうなっているか、江



老朽化した江口排水機場

口排水機場の再稼働は出来ないのか。

**答** 排水施設の管理者である河川事務所や佐賀県に専門業者でのメンテナンスを今以上にしっかりと行って頂くよう強く要望していく。江口排水機場は昭和33年に完成し60年以上が経過し老朽化が顕著であり、平成30年5月に筑後川河川事務所と東部土木事務所及び、みやき町とで廃止に係る協議を行い、河川事務所の見解としては再稼働は無いとのことである。



古賀 通議員



問

大雨災害にポンプ増設と田んぼダムの活用を

答

災害内容を検証し具体的に対策をすすめる

どうか。

答 専門官を置いてしっかりと体制づくりをし、組織づくりの議論を行う。

敬老祝い金について

問 継続という方向でしようが、予算措置について説明をお願いする。

答 当初予算(案)では70歳、90歳の節目を外しているの、次の定例会で補正をさせていただきます。

問 人間が引き起こした地球温暖化は深刻であり今の気温より1・5度上昇すると人間や生態系に被害をもたらす。2050年までに排出ガスをゼロにこの目標では間に合わない。身近に山火事や地震大雨、植物生育にじわりと影響している。最近の集中豪雨に真正面から早急に取り組むことが重要だ。

答 昨年8月は14日までの4日間に935ミリの雨量が観測された。



制水門

①佐賀県知事にポンプ増設と泥上げ・樹木草の伐採と流域治水を緊急要望した。  
②泥上げは寒水川はしているが井柳川・

切通川の計画はないので強く要望する。  
③排水機場の再建は寒水川放水路が平成22年完成したとき江口排水機の廃止が決

まっていたがその後も稼働していた。平成30年に筑後川河川事務所と交渉したが老朽化がひどく維持困難と回答。  
④筑後川流域治水協議会にて事前放水では不十分のため河床掘削やポンプ増設など陳情した。この5月に河川事務所と検討会があるのでしっかり要望する。  
⑤準幹線水路9kmを県営クリーク防災機能保全対策事業で浚渫や木柵工事など洪水調整機能の保全に努めている。



田んぼの排水樹

問 最近の線状降水帯や内水氾濫は想定以上の災害が発生する。対策は被災者や現地に詳しい方で防水チームを立ち上げ具体的に検討しては



敬老祝い金



大石 安弘 議員



# 問

ふるさと納税事業者選定及び  
振興協会の役割について

# 答

総務省告示に則って取り組んでいる



みやき町防災センター南玄関

問 ふるさと寄附金は、今や町にとって安定した財源であり、子どもへの医療費補助、給食費の無料化、地区への助成等に有効的に活用されており、寄附者の皆様には敬意を表します。

しかし、近年ふるさと寄附金が町内において負のイメージとして取り沙汰されていることには寂しさを覚えます。一日も早くすっきりした形で結論を得、新たなルールを整備し、振興協会をオープンにし健全な運営に努められることを望む。

答 事業者決定は町の産業振興に寄与するか、総務省の基準に該当するか等を審査し決定している。

事業者との契約は、令和2年に作成された様式等が使われており、現在①ふるさと納税の促進②町内の農商工業の振興により地域経済の活性化③返礼品を通じてみやき町、佐賀県の魅力を発信することを目的に、総務省の基準を十分に満たす返礼品取扱事業者募集要項を作成している。

導で設立。町の職員2名を運営に参加させ、地域の商品開発や事業者の磨き上げを町との連携を密にしながら行っている。

問 12月の補正予算で収入額を14億円増額し、44億円とされた。にもかかわらず3月の補正では、11億円減額され、33億円が提案された。年度替わり時期において余りにも無謀と思えるが、何が原因か。聞くところでは、人気ある5千円の米を一方的に廃止したためと聞けが、関係事業者との間でトラブルはなかったのか。

答 みやき町は、魅力ある商品を出し続け、地域の事業者様に納得いただける形がどうなのかというところに向けてチャレンジをし続けている。5千円のお米もそのチャレンジの一環で、寄附額に対してその経費は5割以内という総務省のルールを守りながら、寄附金を確保し町の財政を維持する方策を実施した結果、寄附金の額が目標を下回りましたが、財源的には一定の成果が認められたと判断しています。

5千円の米の廃止

は事前に取扱事業者に説明を行い、納得いただいたうえで行っている。

問 町防災センターは、先に行われた町議会議員選挙の期日前投票所となっていた。しかし、歩行困難な高齢者や障害者にとって南北の玄関は、傾斜や段差があり介助者からのクレームを多数聞いた。健康者目線で見ると大して何ともないと感じるが、視線を低くして車イス目線

## 町防災センター南玄関のバリアフリー化を

で見ると、その危険性は一目瞭然。右の写真で分かるようにインターロッキングの沈下が生じ傾斜が厳しいため改善を求めます。

答 ご指摘のとおりインターロッキング部の沈下や、急傾斜及び段差のため、介助の方にも負担を強いている状況で、選挙事務従事者の補助による対応を行った。このような状況改善のため、早急に段差及び急傾斜解消を進めます。



平野 達矢 議員



問

リサイクル施設建設の再検討を

答

政策協定であり約束を守りたい

上水道本管延長で地域の活性化を

問 上水道は必要不可欠である。しかし東部水道企業団の本管敷設状況は本町の総合計画と整合性に欠けている。住民負担軽減のためにも本管敷設の延長をすべきと考えるが。

答 国道等の大きな道路沿いに配水管の末端施設が敷設整備されると新たな企業・事業者の進出、分譲地の開発等が促進され周辺市町との波及効果も期待できる。今後有効な配水管敷設の方法や手段について調査研究し、企業団を構成する市町と協力し、企業団の会議の中で検討を求めたい。

問 政策協定と地元同意が一番大事と理解した上で、まだ使えるリサイクルプラザを当初の約束通りに崩して平地にするのが今の時代の在り方なのか。資源を大事に再生し次世代につないでいくのが行政の役目である。SDGsとの整合性を求めるなら一歩立ち止まり、振り返り、立ち戻ることも必要と思う。再検討について伺う。

答 リサイクルプラザは令和5年度末で溶融資源化センター



リサイクルプラザ

とともに設置期限20年で供用終了し施設は撤去することが設置時の協定であり地区との約束である。次期リサイクル施設は立石町に建設が決定し施設整備に係る事業が進められているが、場所選定遅れで5年間の現有施設使用延長願いが出され、本町と地元地区

中原駅の利便性維持の在り方

問 駅は町の玄関であり顔である。高齢化が進む今、公共交通機関の整備は重要度を増すばかりである。特に中原地区においては、福祉施設や学校が集積しており、高齢者、障害者、学生に配慮した公共



中原駅ホームの屋根

交通の充実が求められている。中原駅の現状から次の点について伺う。

① 駅員常駐のために公費負担導入をすべきと考えるが。  
② 駅舎拡張、ホーム跨線橋屋根新設、バリアフリーエレベーターの設置に公費導入の考えは。

答 令和4年3月12日から中原駅においても切符の窓口販売が廃止され、定期券の購入もできない。駅員の有人対応も午前中のみで、不便性が増している。昨年10月JR九州に、駅員常駐、利便性向上、安全性確保について要望書を提出している。JR九州からは、町から財政的支援を受けるとはしないとの回答を受けているが、町としてできる支援策についてJR九州と協議をしていく。





目野さとみ 議員



## 問

高齢者のエアコン購入費助成を

## 答

命を守るための方策を調査する

問 高齢者の熱中

症・防寒対策でエアコンの購入費補助をお願いしたいが、町には一人暮らしの高齢者が何人おられ、熱中症予防には何が有効であるか、近隣市町で助成を行っている自治体があるかどうかを問う。

答 令和3年10月

1日で65歳以上の一人暮らしの高齢者は1,760人。予防にはエアコンの適切な利用と輻射熱の遮断がポイントである。佐賀県内で補助事業を行っている自

治体はない。

問 今夏も猛暑が予想される。エアコン

助成等を含め、ぜひ高齢者の命をどうしたら守ることができると考えていただきたい。

答 高齢者の方々を

しっかりと見守っていただくことは、行政として大事なことです。助成については、しっかりと調査、研究させていただく。

### 県とパートナーシップ制度の協定を

問 LGBTの方への差別や偏見、生き

## 問

命を守るための方策を調査する

## 答

つらさを解消する一

つとして公的に認めるパートナーシップ

宣誓制度がある。近隣市町が結んでいる県との県制度の利用に関する協定をみよき町も結ぶべきではないか。

答 佐賀県パートナ

ーシップ宣誓制度への協定に関する意向調査があり、令和4年4月1日をもって協定書を締結することになり、町営住宅、PFI等地域優良賃貸住宅、定住促進住宅の申し込みの際に家族同様の対応を受

けることができる。

### コロナ後遺症の支援を

問 新型コロナウイルス

感染後、心身やくらしに及ぼす影響は深刻だ。感染者が

増え続ける限り後遺

症で苦しむ方々も増える。後遺症でお困りの方に県に感染者の情報提供していただき、一人一人に寄り添ったフォローや支援ができないか問う。

答 県からの情報提

供は、感染者数、年代、性別のみで、町から、その後の健康状態の確認等をすることは困難で積極的にアプローチできない。相談があった場合は個人情報等に注意し必要に応じ医療機関への相談をしていただくか、佐賀県の受診相談センター窓の案内をしている。

問 後遺症の相談窓

口の設置等を含め、今後の町としての具体的対策を問う。

答 手洗い等の基本

的な感染症拡大防止策、国県町の施策の周知、予防接種の実施、後遺症等の相談窓の案内を引き続き進める。



新型コロナウイルス感染者数  
(みやき町)

1,103人  
(3月18日現在)



宮原 宏典 議員



問

治水対策専門部署の早急な設置を

答

防災担当の枠組みで専門官配置をする

**問** 専門部署の設置は令和3年第4回定例会では検討すると答弁。武雄市は専門部署を立ち上げ予算化されている。梅雨入りも近く5人の議員の質問は人命財産を守る危機感からである。

**答** 昨今の災害は多発化、甚大化の状況で、上峰町等で任用されている、専門知識を持つ地域防災マネージャーや消防署職員の派遣受け入れ等を検討していく。

**問** 被害の最小化について河川水路の水草除去・浚渫工事・

水門調整・田んぼダム等で遊水調整池対策をしたいとの答弁ですが、強調したいのはこすもす館周辺全体を調整池に活用、筑後川の浚渫を行い排水ポンプの停止が無いよう近隣市町村間で県に要請すべきだ。



冠水した江口地区

**問** 前回議会では納入業者の不適切な行

**答** 提言の通りこすもす館北側は認識している。筑後川の浚渫工事については内水氾濫対策で最小化にむけ久留米市と協議をしたい。

**ふるさと納税返礼品納入業者の真相究明を**



冠水した江口地区

為の真相究明に第三者委員会等で調査するよう要望を行っていた。

元副町長が返礼品納入業者の取締役に就任することは兼業兼職にあたるとして調査特別委員会設立の動議が提出された。しかし賛成少数で否決された。議会の在職中に起きた事件は、議会人として責任を果たすべきと賛成したところだ。

**答** 第三者委員会設立については日本弁護士連合会指針によると対象事業を究

明・把握・認定し報告を目的とするところあり、多くが弁護士、税理士を委員に委嘱して調査が行われます。

この他にも地方自治法第一九九条第六項の地方公共団体の長からの「監査要求の制度」もあります。町民の皆様からは真相究明をせよとのご意見が多く寄せられていますので、今後とも有効な調査方法を検討していきたい。

**問** 今後有効調査方法を検討するとのことだがこれでいいの

か。内部資料の分析や当時の担当職員の調査等もできると思うが。

**答** 第三者委員会なりで過去の聞き取りをしていただき行政内部の資料調査は可能だが調査には限界もある。

**問** 資本注入すると議会議事録もある神聖な議場の町長答弁がこんなに軽いものか。

プールしている利益は町に返還すべきだ。議会町民をだます行為は、議会制民主主義が問われる問題だ。

**答** 執行部側でやるべき事はしっかりと精査し議会に報告、内部で改めることは改め議会と共に協議していきたい。



牟田 秀文 議員



## 問

みやき町の内水氾濫対策は

## 答

国や県、近隣市町と連携を図り内水氾濫対策に取り組む

問 昨年12月の県議会  
の一般質問内水氾  
濫対策についての知  
事の答弁によると、  
人命等を守る、内水  
をためる、内水を流  
す、と対策を掲げ、  
内水氾濫対策を国・  
県・市町等の関係機  
関と連携し、順次取  
り組み、県が全体調  
整していくと答弁さ  
れているが、みやき  
町ではどのように県  
と対応されるのか考  
えを伺う。



冠水した豆津地区

答 県では昨年8  
月の豪雨災害を教訓  
に国・県・市町の関  
係機関と一丸となつ  
て内水対策に取り組  
み、みやき町として  
は、田んぼダムに対  
する多面的機能支払  
交付金など支援事業

種なのか。また、新  
型コロナワクチン接  
種に伴う副反応によ  
る出欠の取り扱いに  
ついて伺う。

## 答

個別接種と集団  
接種を併用して実施  
している。集団接種  
については、3月5  
日(土)と6日(日)  
に1回目の接種を実  
施し、その3週間後  
26日と27日に2回  
目を実施する計画で、  
個別接種については  
は、昨年12月より町  
内医療機関と協議し  
た結果、町内1医療  
機関で3月14日より  
個別接種を開始して  
いる。小中学校では、  
ワクチン接種に伴う  
副反応により発熱等  
の風邪症状がある場  
合には、「出席停止」  
の取り扱いとしてい  
る。

総務省の法改正後に  
は、みやき町もこの  
部分については改善  
していると理解して  
いる。

い、返礼品を軸とし  
た地域事業所が盛り  
上がる仕組みを取り  
入れるということであ  
ったが、具体的に  
どのように改善され  
たのか伺う。

答 アンケートで  
地場産品と胸を張つ  
て言える返礼品が少  
ないことが違和感し  
かないと発言したの  
は、みやき町がふる  
さと納税制度の指定  
停止を受ける以前の  
アマゾンギフト券や  
換金性の高い返礼品  
で寄附金を伸ばして  
いた頃の返礼品を指  
して発言を行った。

ふるさと寄附金  
返礼品について

問 去年4月2日付  
の佐賀新聞、みやき  
町長選挙立候補者政  
策アンケートでは、  
岡町長は、地域産品  
として胸を張って言  
える返礼品が少ない  
のは違和感しかな  
い。

答 去年4月2日付  
の佐賀新聞、みやき  
町長選挙立候補者政  
策アンケートでは、  
岡町長は、地域産品  
として胸を張って言  
える返礼品が少ない  
のは違和感しかな  
い。

## 小児の5歳から11歳の ワクチン接種について

問 小児において  
は、中等症や重症例  
が確認され、特に基  
礎疾患を有するなど  
重症化するリスクが  
高い小児には接種の  
機会が望ましいとき  
れ、今後、様々な変  
異株が流行すること  
も想定されるが、個  
別接種なのか集団接



吉村てつお 議員



問

山田地区の災害復旧と今後の見込み

答

町道丸山線  
崩落の最も大きい箇所今月で完了

進めたい。

**問** 山田地区への警報として土石流センサーと雨量計によるサイレン等が設置されているが、頻繁にサイレンが鳴り不安。

**答** 雨量計の警報雨量の変更は可能なので、佐賀森林管理署と東部土木事務所に

協働して、サイレンの設置場所を調査し、必要に応じて設置する。寒水川の浸漕を県に要望したい。

**問** 原古賀公民館に隣接する陶芸施設の維持管理について、近隣住民から施設の管理がされてなく、シロアリが発生していること苦情があり、今後の対

応はどうするのか。

**答** 平成25年5月末の利用後使用が無く維持管理が出来ておらず、深く反省している。駆除剤を散布して、今後は点検を実施するため点検マニュアル及び報告書を作成して施設維持管理をする。

**問** 岡町長は、建造物不法侵入並び不正アクセス禁止法違反で書類送検され、結果的に、不起訴処分になったが、どうして複数回侵入し、個人情報をはじめ様々な情報を盗み出しているにもかかわらず何らお咎めもない、多くの町民が納得され

てないし、怒りを感じておられる。みやき町の発展と明るい未来を願う会の公開質問状から質問します。  
①みやき町東尾に住居の実態は。  
②建造物不法侵入、不正アクセス禁止法違反について、いつどこの建物に、何の目的で侵入し、何をしていたか。  
③なぜ退職後に町の所有のパソコンを使用し、印刷代や用紙代は支払いされたか。  
④今回の書類送検された事で小・中・高の学生に対する影響をどの様に考えているか。

**答** ①住民票のみや

き町にあり、またこの1年様々な攻撃があったことにより、身の危険を感じながらも、みやき町の住居に居住実態もある。一方、地方議員と違い、首長には住居に関しての要件は公職選挙法にうたわれないので、質問の主旨が理解できない。

②③④に対しては、前町長が組織の代表として被害届を警察に提出し、本件の捜査がスタートし、捜査機関がしっかりと調査し、司法機関が捜査内容に鑑み判断している。現町長として、私には被

害届を取り下げる選択肢もなかった中で、それをしなかったのは、それが日本における最高の説明責任だと考えたからである。なお不起訴案件の捜査情報については公にできないという刑事訴訟法関連の前提もあるので、詳細はお答えできない。

**問** ただいまの回答では納得する様な内容ではない。令和3年2月9日に退職され10日の夜に侵入し不正アクセスしている。また、14日夜、17日、21日、22日、28日、と中原庁舎分に侵入し自身の選挙関連の作業もしている。

**答** 結果として納得いかない判断ができたからといって、異議を唱えるのは、法治国家、日本においてはあり得ないと理解している。

※情報公開に基づく資料より

平成29年度	
ふるさと寄附金総額	72億2200万円
返礼品への支払総額	26億8200万円
返礼品業者内訳	
納入業者	売上額
(株)PLAN	12億5900万円
(株)ALL MIYAKI	5億9000万円
(株)みねCC	1800万円

平成30年度	
ふるさと寄附金総額	168億3300万円
返礼品への支払総額	76億9000万円
返礼品業者内訳	
納入業者	売上額

(株)PLAN	5億5700万円
(株)ALL MIYAKI	2億2800万円
(株)みねCC	5億1700万円
(一社)優里	3800万円
(株)KTソリューション	9億7400万円
(株)レッドホース	31億1100万円
(株)K (仮名)	1億1300万円

※株Kはすべて判明できなかったため最低額を表記

問 ふるさと納税では、全国から29年度72億円・30年度168億円の寄附が寄せられた。返礼品納入業者の件で疑念の声は尽きない。住民団体の報告では元副町長が社長だった株みねCCや前町長の友人・身内が役員を務める各社等も大きな売り上げをあげてい

た(資料参照)。29年度は町が支払った返礼品納入総額26億8千万円のうち3社で約7割を占める。30年度はギフト券や家電業者KTソリューション、レッドホースへのコンサルが41億円。入札の有無、仕入れ額等不明で注目業者も売り上げで突出していた。



益田 清 議員



問

ふるさと納税疑念  
真相究明を

答

調査を実施、報告したい

答 換金性の高い返礼率が集まっているとの指摘に対して、第三者委員会や、地方公共団体の長からの監査要求で真相究明し、当時どこに問題があったか、明らかにしなければいけないと考えている。

答 他自治体の例では第三者委員会の設置、地方自治法第199条第6項の地方公共団体の長からの監査要求など行われている。本町も調査研究し効果的に進める方法を実施していきたい。

問 本町は1年1カ月間、制度からの除外を総務省からうけ、寄附が途絶えた。それは平成30年11月から5か月間に金券類等を返礼品として50億円以上を集めたことによるもので、厳しい制裁だった。究明を求めたい。

答 調査を行っていただきたい。収支決算書類は請求しているが提出されない。議員の方々と知恵を絞っていく

問 優遇では①多種類の返礼品の商品取り扱い②高い返礼率設定の品目(コメ・肉・アイパッド・高級ワイン)は必ず上記の業者が入っている。③換金性の高い商品の取り扱い④地元の人吹が返礼率30%台

答 本町は1年1カ月間、制度からの除外を総務省からうけ、寄附が途絶えた。それは平成30年11月から5か月間に金券類等を返礼品として50億円以上を集めたことによるもので、厳しい制裁だった。究明を求めたい。

答 調査を行っていただきたい。収支決算書類は請求しているが提出されない。議員の方々と知恵を絞っていく

町民アンケートへの主要望事項をとりあげました。  
①綾部原古賀線の道路舗装を②三根運動場の木造あずまやは危険対策を③国道264号線、本分橋過ぎ直前(西から東へ)に横断歩道があり、橋が高いため見えにくい。事故が心配。歩道の位置変更か信号設置を④北茂安小学校の南からの登下校(東尾市原線・東尾瀬戸線関連)道路交差点。交通量増加「児童横断注意」の表示⑤新設町道中原三根線の見通し⑥「ニアアプ」のような居場所づくりの復活を⑦中原駅跨線橋に屋根設置⑧下水道料金の軽減制度

## 持続可能な開発目標

エス・ディー・ジーズ  
SDGs

みやき町議会議員も  
取り組んでいます

2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

みやき町議会でも、議員全員がSDGsの「誰一人取り残さない」を基本理念に一般質問にも取り組んでいます。

一般質問のページには、SDGsの17目標のロゴマークを掲載しています。

また、『ORRロード』からは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 令和4年第2回定例会(6月)会期予定

6月7日(火) ~ 16日(木)

一般質問 9日(木)、10日(金)、13日(月)

本会議の開会は午前9時30分です。

※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。最新の日程は、みやき町ホームページまたは議会事務局(94-5728)でご確認ください。

### 編集後記

改選後、初めての議会会報です。オール新人体制!!新しい風に乗せてみやき町議会は未来へ大きく羽ばたきます。ご期待ください。(平)

#### ◎広報編集委員会

委員長 平野 達矢  
副委員長 西村健一郎  
委員 末次 優  
委員 長瀬 宣宏  
委員 吉村 哲雄  
委員 武田 光邦